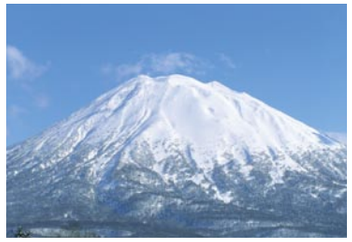
支笏洞爺国立公園

羊蹄山エリア（羊蹄山）
「蝦夷富士」とも呼ばれる秀麗な山容

富士山に似た秀麗な姿でそびえ立つ羊蹄山は、標高1893mあり、この国立公園の最高峰で、山頂部は高山植物に飾られる。

公園の西方に隣接するニセコエリアは、近年国際的なスキーリゾートとして発展している。



洞爺湖エリア
火山とともに生きる

洞爺湖は、支笏湖とは対照的に岸辺の平坦地に水田や畑地が多く、農村集落もあって、明るく穏やかな景観が広がっている。南岸には有珠山と昭和新山が並んでいる。

定山渓エリア（定山渓）
谷を飾る新緑と紅葉

定山渓温泉は、登別とともに日本を代表する温泉の一つに数えられる。豊平川に沿うこの一帯は、渓谷と秋の紅葉の美しさで知られ、空沼岳など後背の山々とともに札幌市民の憩いの場になっている。

支笏湖エリア
旅人を魅了する水の色

支笏湖は何よりもその澄みきった水の色が印象的だ。まわりを恵庭岳や風不死岳の深い緑に囲まれ、南岸には樽前山の溶岩ドームがアクセントをつけている。新千歳空港から約20kmの距離にありながら、この公園で最も自然性の高い地域である。

登別エリア
豊かな温泉の恵み

登別温泉は豊富な湯量と多様な泉質を持つ、日本を代表する温泉の一つである。背後には噴気を上げる日和山や地獄谷が、その東方には森に囲まれて透明度の高い倶多楽湖がある。